

2023 | 12月期 決算説明資料

(2023年1月1日～2023年12月31日)

2024年2月21日

日本フェンオール株式会社

Contents

はじめに	2
1. 2023年 12月期 決算概要	4
セグメント別実績	8
2. 2024年度 通期連結業績見通し	15
3. 経営目標及び配当方針	19
4. Appendix	21

はじめに

ビジョン

お客様の期待を超える「ものづくり」のベストパートナー

スローガン

「基本の徹底」と「変化への挑戦」

- 組織体制の再編整備
- 人材育成と適所適材
- 研究開発体制の強化

当社の提供価値

私たちは、熱制御をコア技術として、防災、半導体、医療など様々な事業領域において、安心・安全な社会への貢献を果たすことを使命として「ものづくり」に取り組んでおります。



1. 2023年12月期 決算概要

■ 業 績

- ・受注は半導体市場の投資停滞等により減少
- ・売上はSSPとPWBAが大きく減少するなど横這い
- ・利益は防災製品の不具合対応費用の増加で大幅に減少

■ 主な取組み

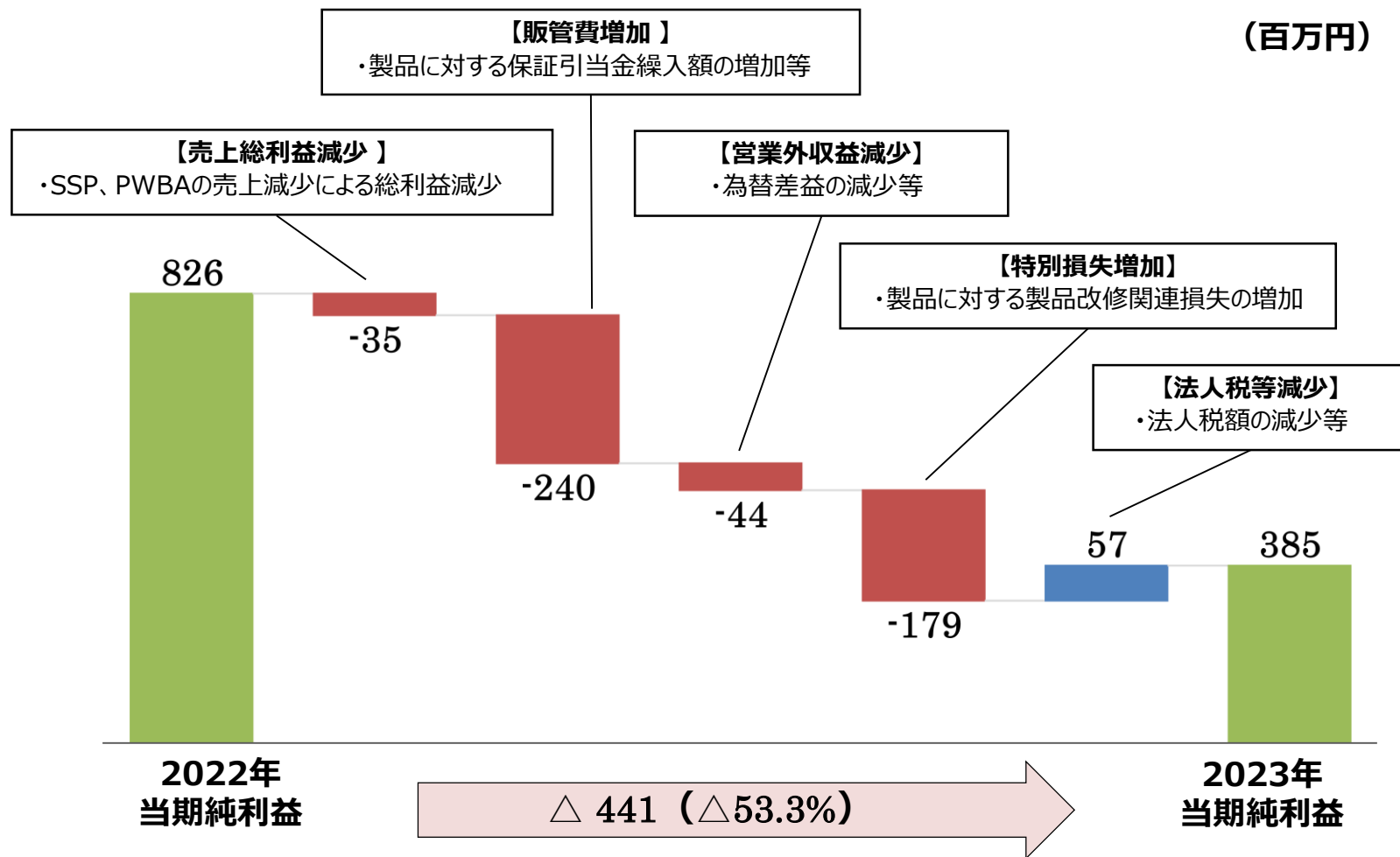
- ・事業間の連携強化を目的とした組織の再編
- ・事業性評価の実施
- ・市場領域に拘らない営業活動の推進
- ・人財育成への取り組み強化

前期比 売上高 +1.6% 営業利益 ▲21.0% 大幅減益

業績項目	当期実績		前年実績		当期予算 (百万円)	
	実績	実績	前期比	予算	予算比	
■ 受注	11,859	12,914	△8.2%	11,484	3.3%	
■ 売上	12,601	12,401	1.6%	12,342	2.1%	
■ 売上総利益	4,010	4,045	△0.9%	3,746	7.0%	
■ 販管費	2,975	2,735	8.8%	2,898	2.7%	
■ 営業利益	1,035	1,310	△21.0%	850	21.8%	
■ 営業外損益	124	168	△26.1%	82	52.2%	
■ 経常利益	1,159	1,479	△21.6%	930	24.7%	
■ 当期純利益	385	826	△53.3%	147	162.5%	
■ 1株当り純利益(円)	68.83	147.62	△53.4%	26.22	162.5%	
■ ROE	3.1%	6.8%	△3.7Pt	—	—	
■ EBITDA マージン	10.8%	13.4%	△2.6Pt	—	—	

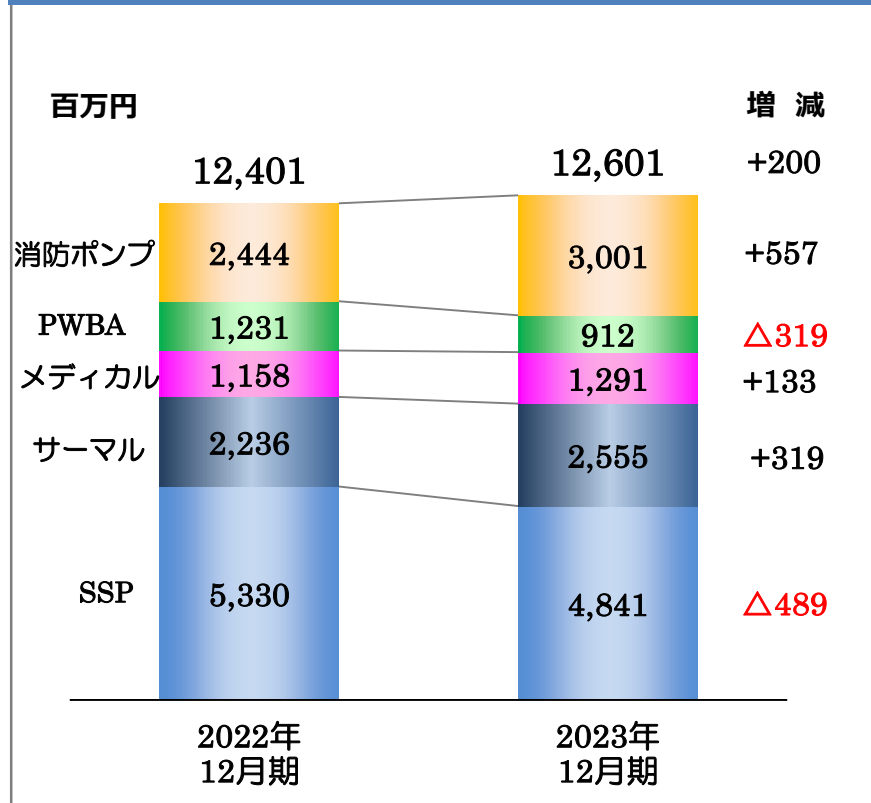
※予算は、2023年10月31日に開示しました通期業績予想の数値です

前期比 当期純利益増減要因

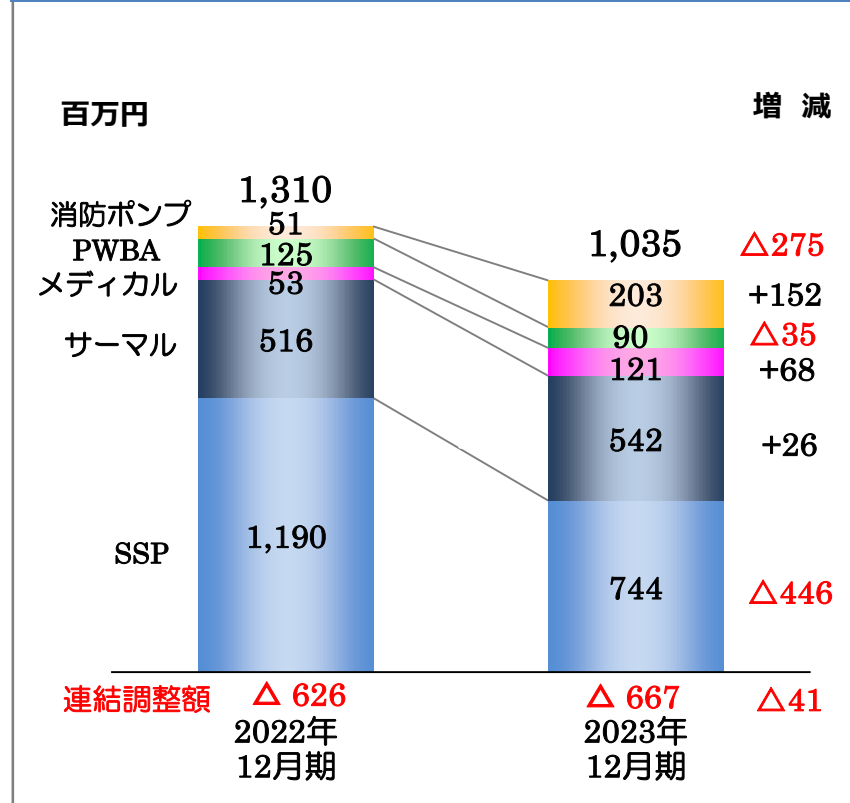


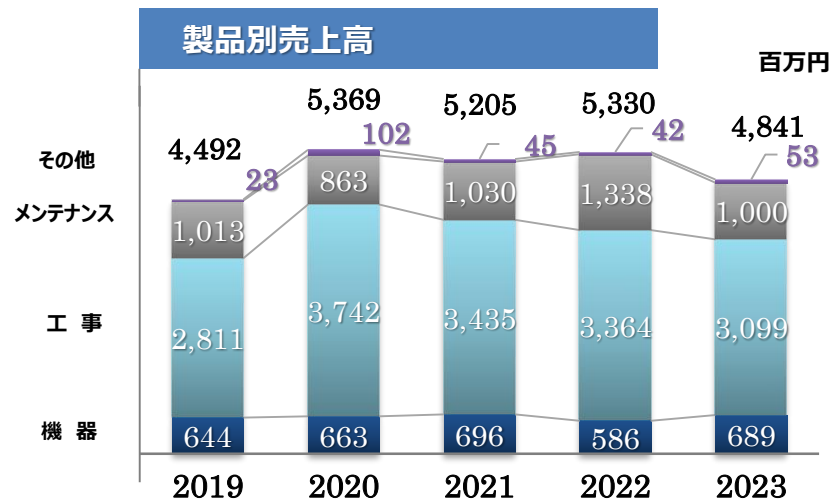
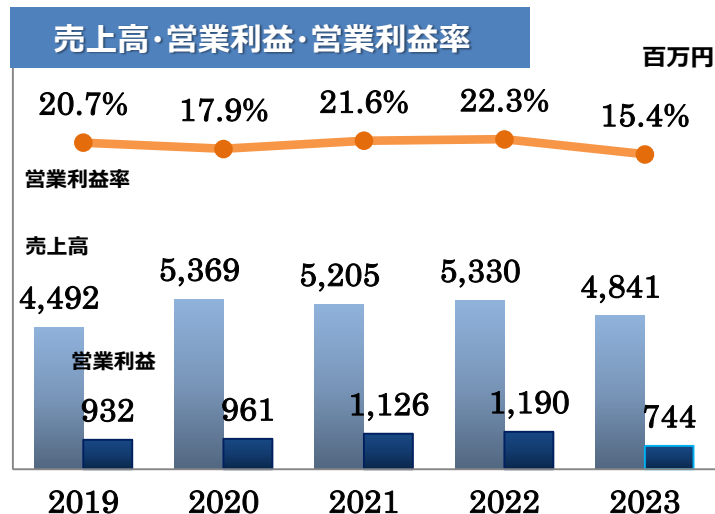
セグメント別実績

売上高の増減



営業利益の増減



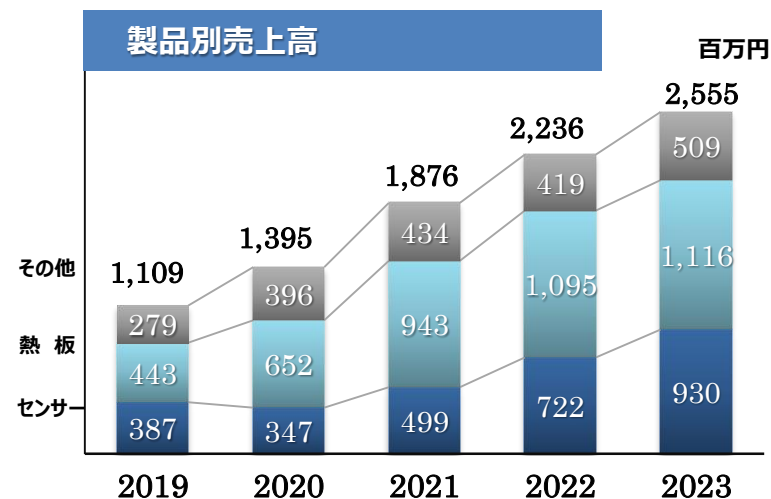
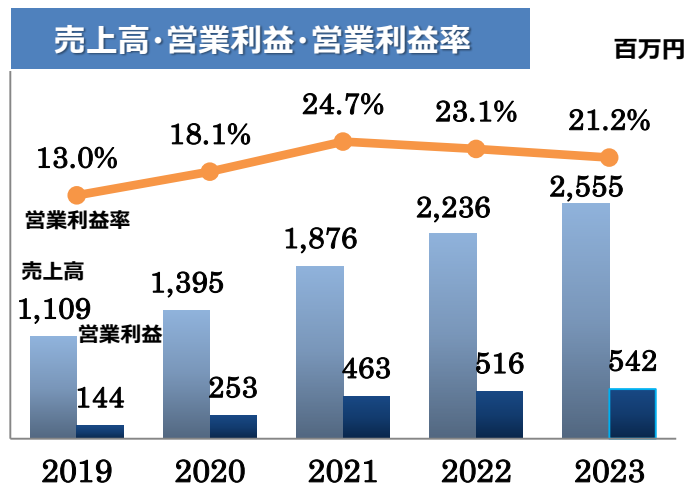


SSP : 前期比、売上高9.2%減、営業利益37.5%減と減収・減益

業績天気

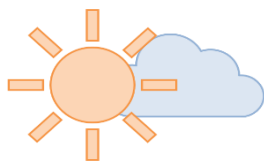


- ・特定顧客向けの警報・消火設備の売上が減少
- ・ハロンガス消火設備の更新需要減に伴い、容器弁関連の売上が減少
- ・製品別では、機器は増加したものの、工事・メンテナンスで売上が減少
- ・製品不具合費用の計上により営業利益が減少



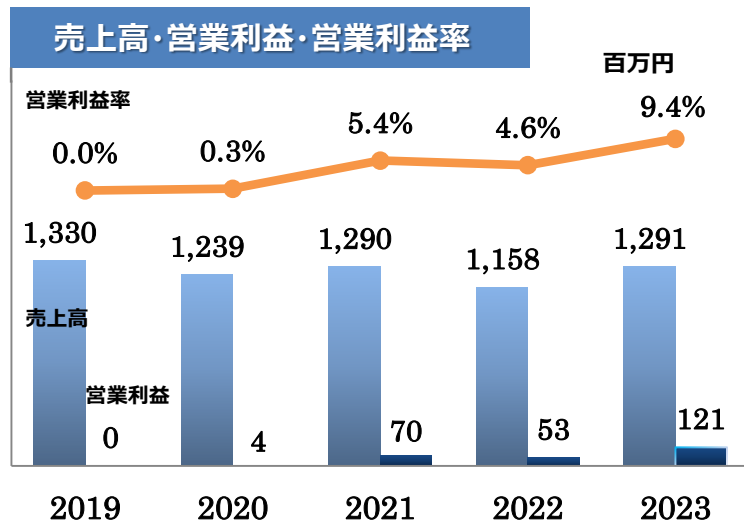
サーマル：前期比、売上高14.2%増、営業利益5.0%増と増収・増益

業績天気



- ・主力製品である半導体製造装置向け熱板及びセンサーは好調に推移
- ・原材料の価格高騰に伴い利益率は減少
- ・市場の停滞により受注高は前期比43.9%減少

メディカル部門



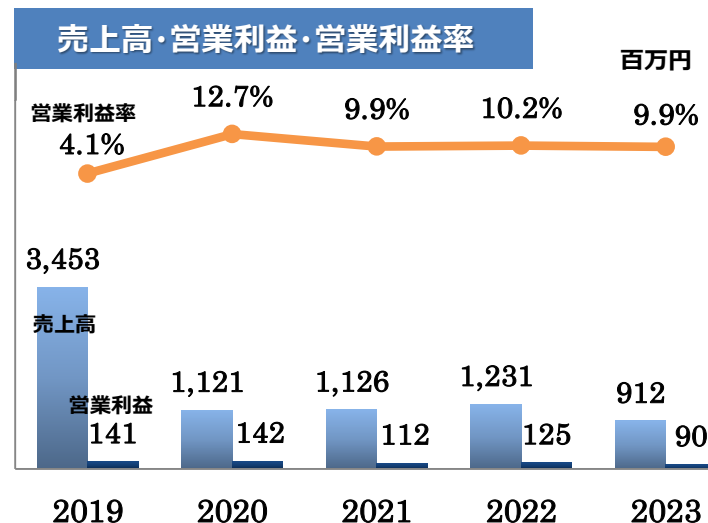
前期比、売上高11.4%増、営業利益128.3%増

業績天気



・販売台数がやや回復し売上が増加

PWBA部門

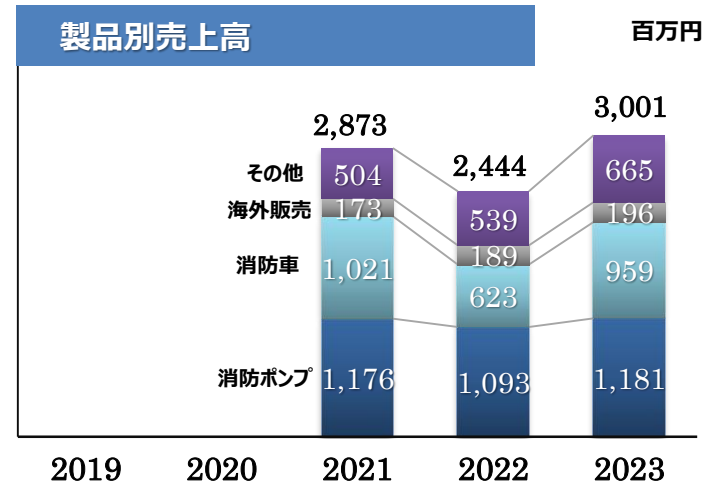
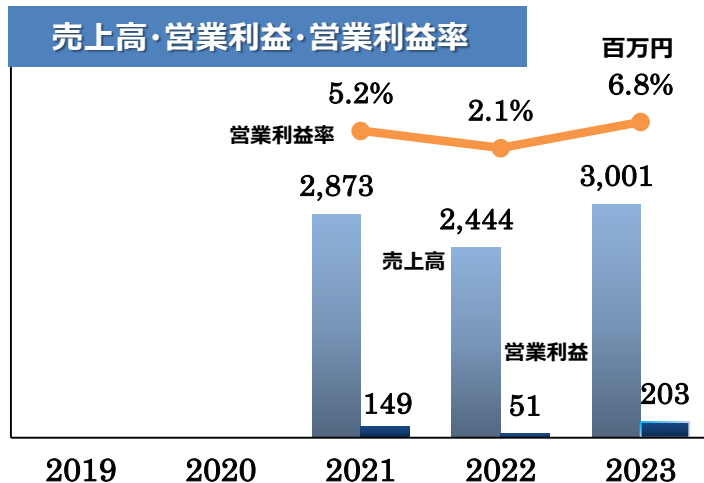


前期比、売上高25.9%減、営業利益28.0%減

業績天気



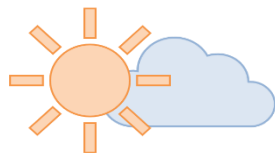
・客先の在庫調整等もあり、事務機器及び産業機器向けに大幅に減少



※2021年1月にシバウラ防災製作所を買収し連結子会社化。

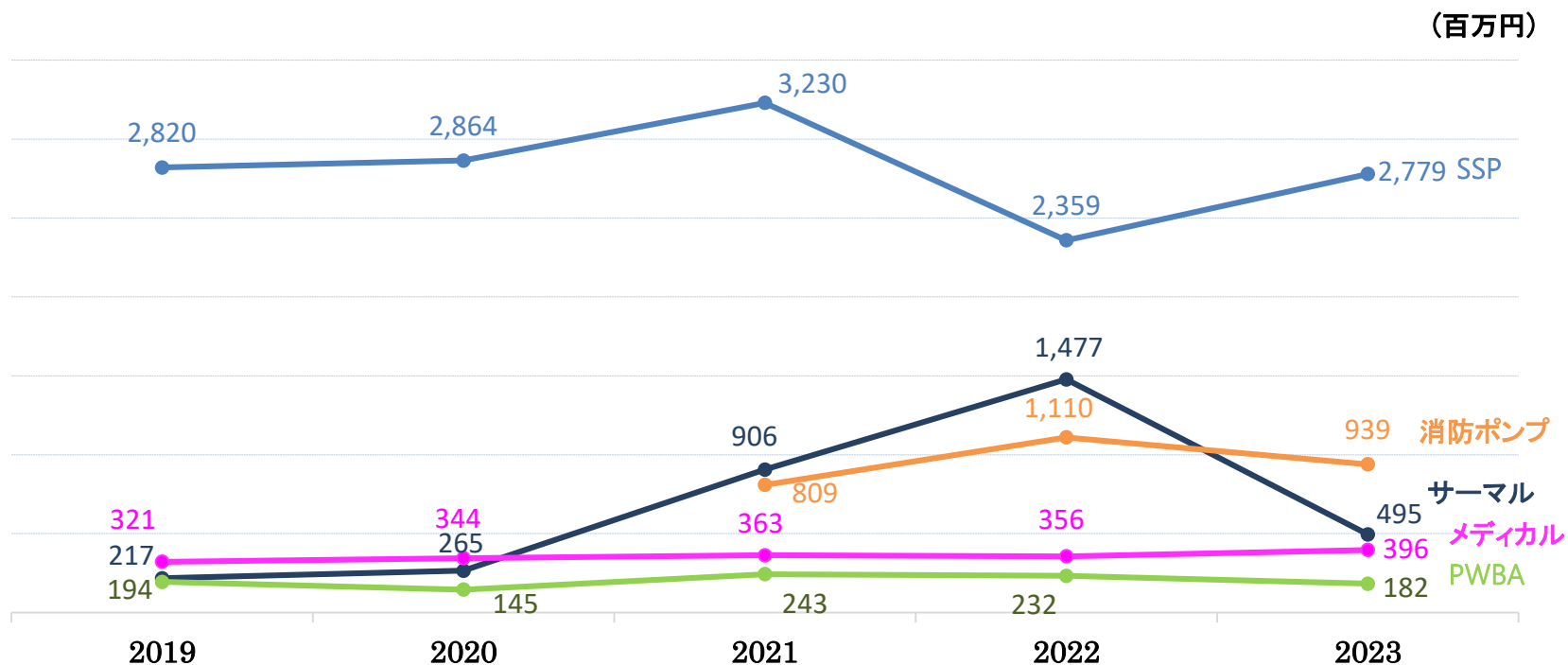
消防ポンプ：前期比、売上高22.8%増、営業利益は298.0%増と増収増益

業績天気



- ・国内向けの消防車及び消防ポンプの販売台数が回復し増加
- ・海外（中国・韓国）向け消防ポンプも堅調に推移

- ・ SSPは、特定顧客向け大型工事案件の獲得により増加
- ・ サーマルは、先行受注の製品の出荷が進み適正水準に向かっている



2. 2024年度 通期連結業績見通し

■ 業 績

- ・サーマル及び消防ポンプで減収が見込まれるものの、SSPの不具合問題が落ち着き回復に向かうことから売上高は微増
- ・利益面では原材料価格高騰等により減益の見通し

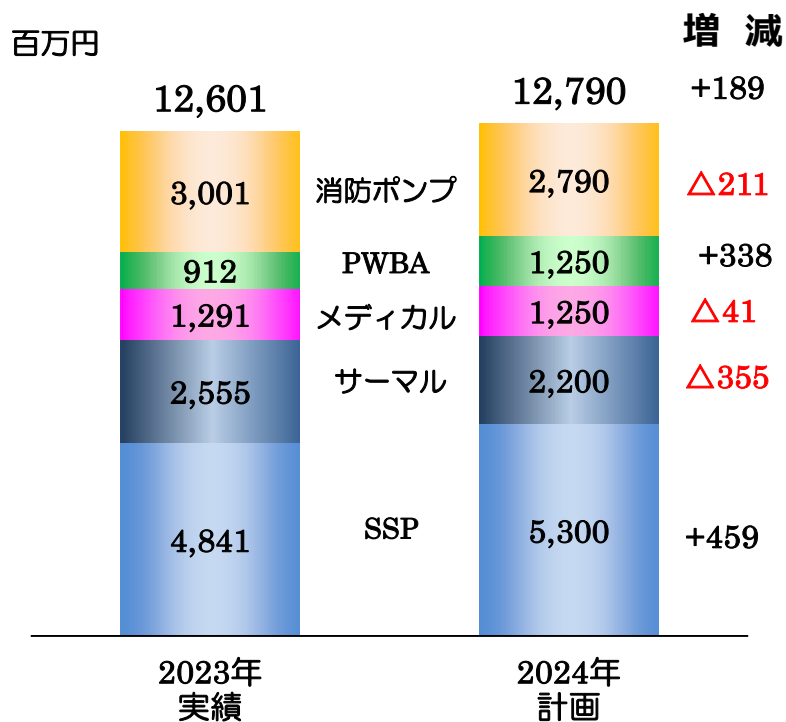
■ 主な取組み

- ・セグメントの集約による事業の効率化を推進
- ・開発投資の充実と品質保証体制の強化
- ・市場領域の拡大に向けた攻めの営業活動の推進

売上を伸ばすことができず、増加するコストを吸収しきれないため減益

計画項目		前期比 (百万円)		
項目	2024 予想	2023 実績	増減率	
■ 売上	12,790	12,601	1.5%	
■ 売上総利益	3,766	4,010	△6.1%	
■ 販管費	2,858	2,975	△3.9%	
■ 営業利益	907	1,035	△12.3%	
■ 営業外損益	37	124	△70.3%	
■ 経常利益	944	1,159	△18.5%	
■ 当期純利益	508	385	31.7%	
■ 1株当り純利益(円)	90.67	68.83	31.7%	
■ ROE	4.1%	3.1%	1.0Pt	
■ EBITDA マージン	10.4%	10.8%	△0.4Pt	

売上高の増減

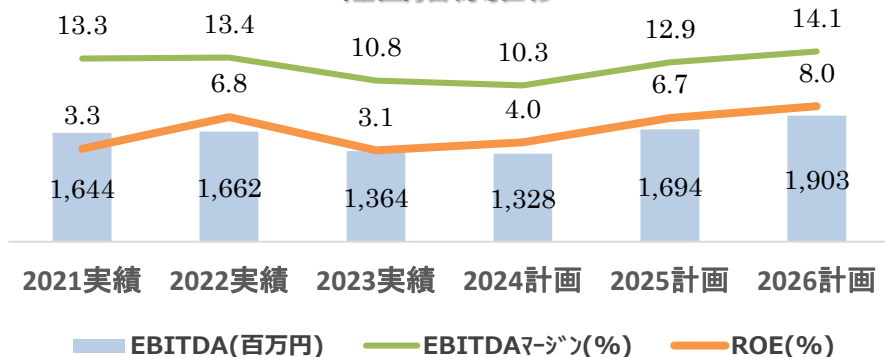


【増収予想】 (前期比 +1.5%)

- SSP
基幹産業及び特殊環境設備向け防災設備の需要の取り込み
- サーマル
半導体製造向けセンサー、熱板の拡販と新たな温度領域における需要の取り込み
- メディカル
他事業と連携した装置需要の取り込み
- PWBA
他事業と連携した基板需要の取り込み
- 消防ポンプ
浄水装置、保安ポンプなどの販売強化

3. 経営目標及び配当方針

経営指標推移



経営目標

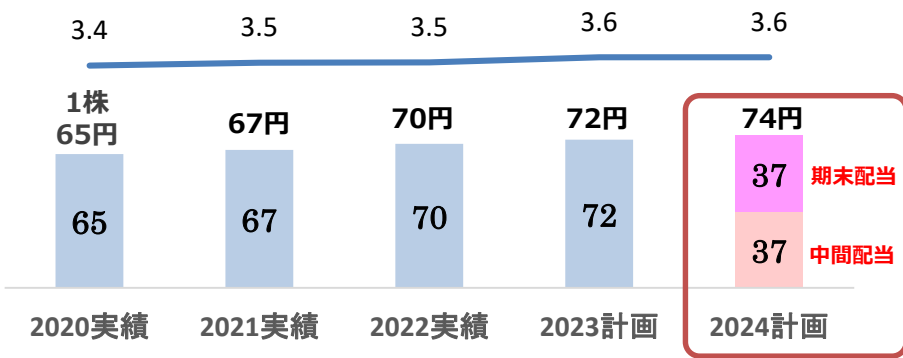
2026年度 EBITDAマージン目標値 14%

キャッシュフローベースでの採算性を重視するため、
収益力指標としてEBITDAマージンを採用する。

2026年度 ROE目標値 8.0%

ROEを意識し向上に努める。

配当金・DOE推移



配当方針

DOE 3.5%程度を目安

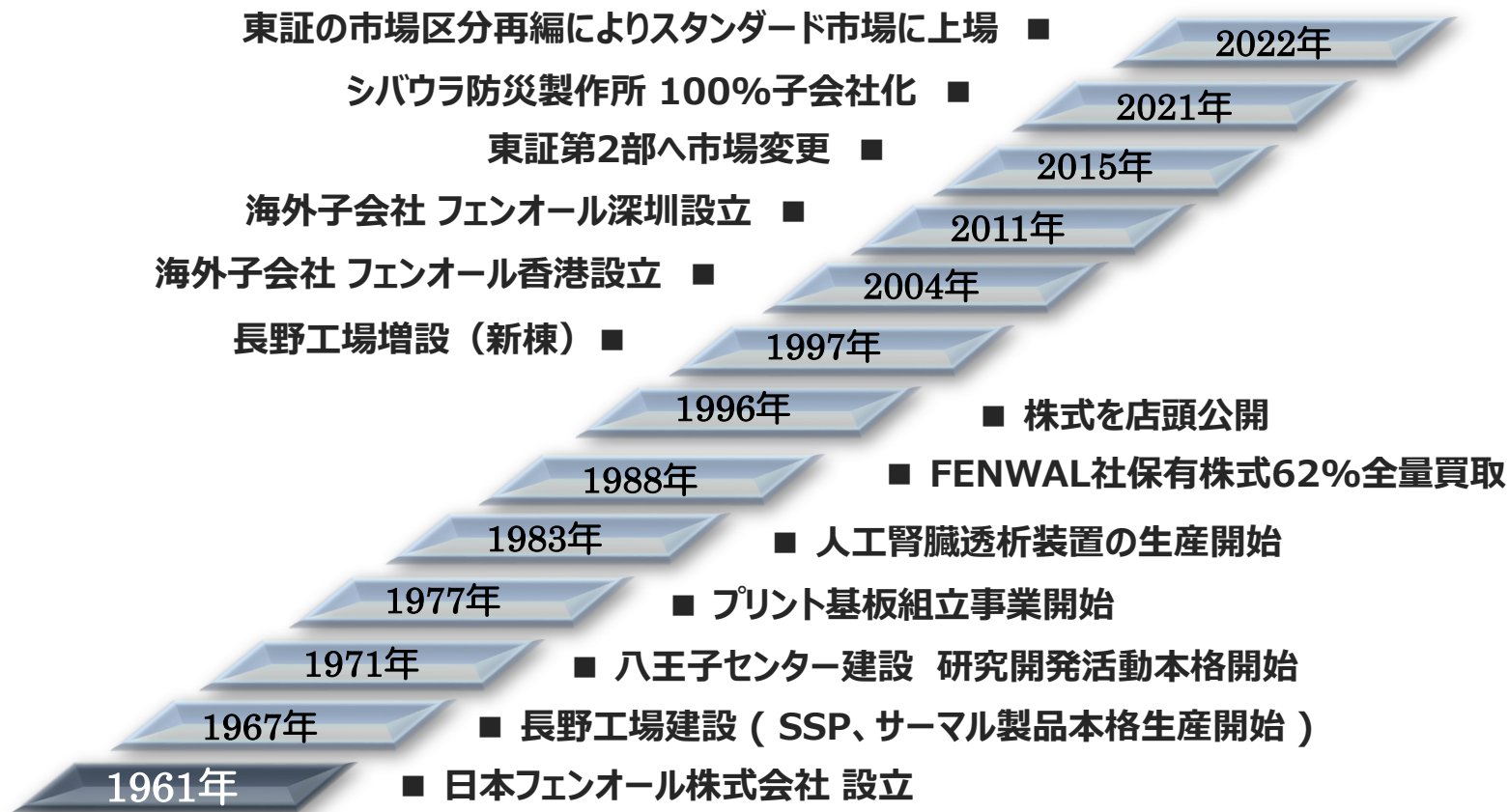
企業価値向上のための積極的な投資を実施しつつ、
安定的な配当を継続するためにDOEを指標とする。
株価水準、キャッシュフロー等を勘案し、自己株式取得に
よる株主還元についても、機動的に対応する。

配当の平準化と流通性向上のため、中間配当を導入

4. Appendix

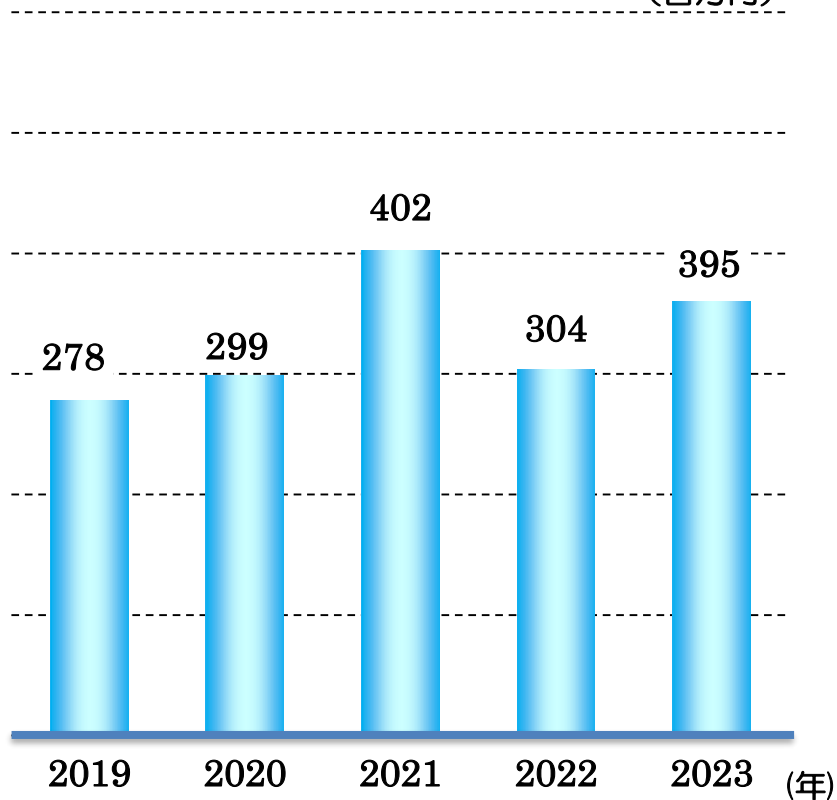
会社概要

会 社 名	日本フェンオール株式会社
代 表 者	代表取締役社長 中野 誉将
設 立 日	1961年5月24日
上 場 市 場	1996年 店頭登録、2015年 東証第2部へ市場変更、2022年 東証スタンダード市場
資 本 金	996,600,000円
従 業 員 数	278名（連結）（2023年12月末現在）
本 社 所 在 地	東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号
事 業 内 容	・SSP（防災機器） ・サーマル（温度制御機器） ・メディカル（人工腎臓透析装置） ・PWBA（プリント基板実装） ・消防ポンプ（子会社）
大 株 主	・THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD ・株式会社三井住友銀行 ・株式会社八十二銀行 ・西華産業株式会社 ・QUINTET PRIVATE BANK (EUROPE) ・株式会社吉田ディベロプメント
取 引 銀 行	・三井住友銀行 ・八十二銀行 ・三井住友信託銀行 ・三菱UFJ銀行
関 連 子 会 社	国内：株式会社シバウラ防災製作所 海外：・日本芬翁（香港）有限公司 ・深圳芬翁信息咨询有限公司



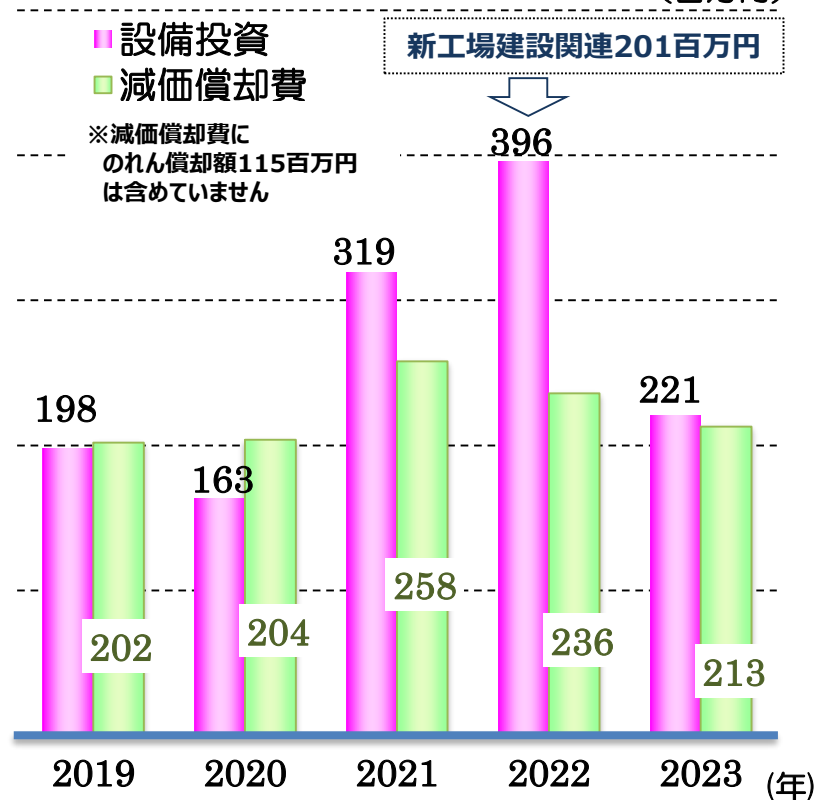
研究開発費

(百万円)

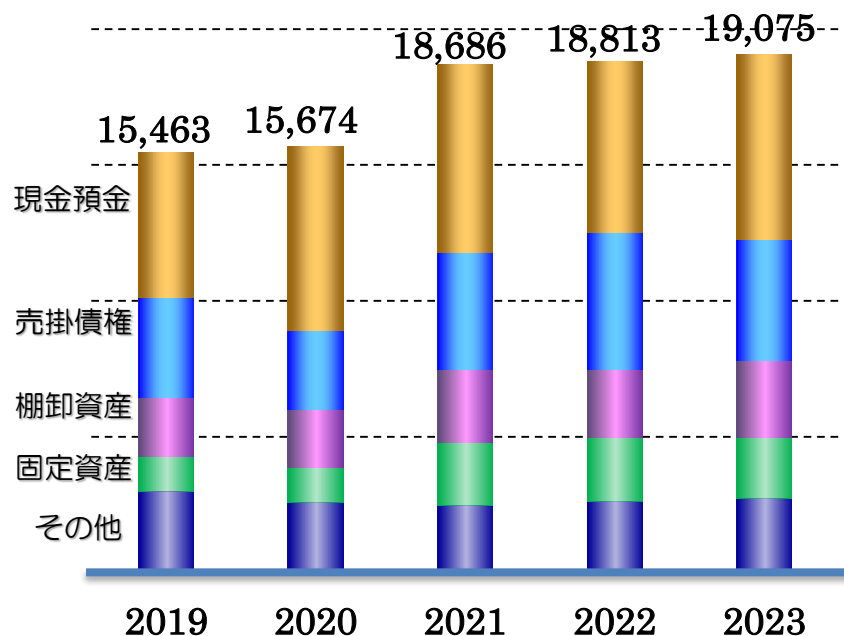


設備投資・減価償却費

(百万円)



資産推移

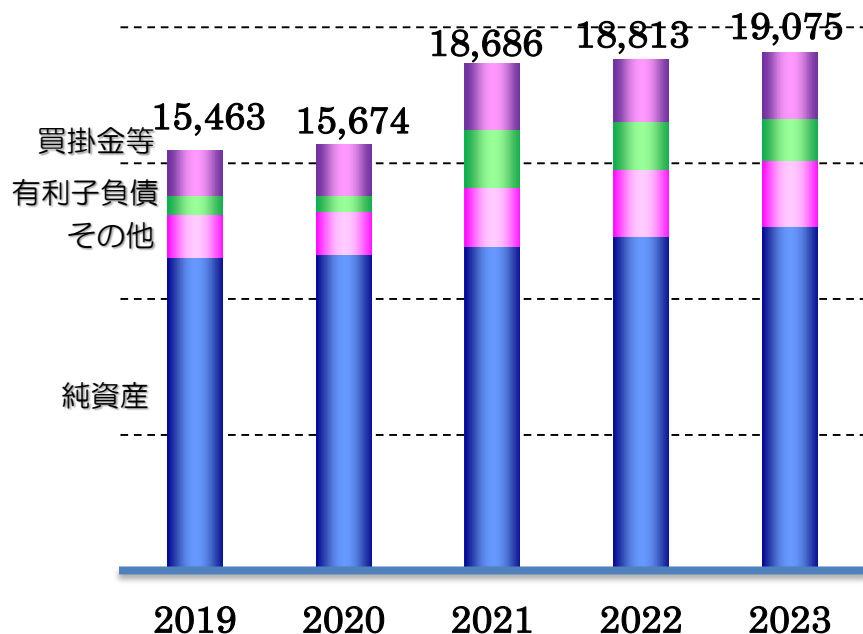


増減内容

(百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	6,819	6,316	8.0%
売掛債権	4,457	5,023	△11.3%
棚卸資産	2,839	2,496	13.7%
固定資産	2,244	2,350	△4.5%
その他	2,716	2,628	3.3%
合計	19,075	18,813	1.4%

負債・純資産推移

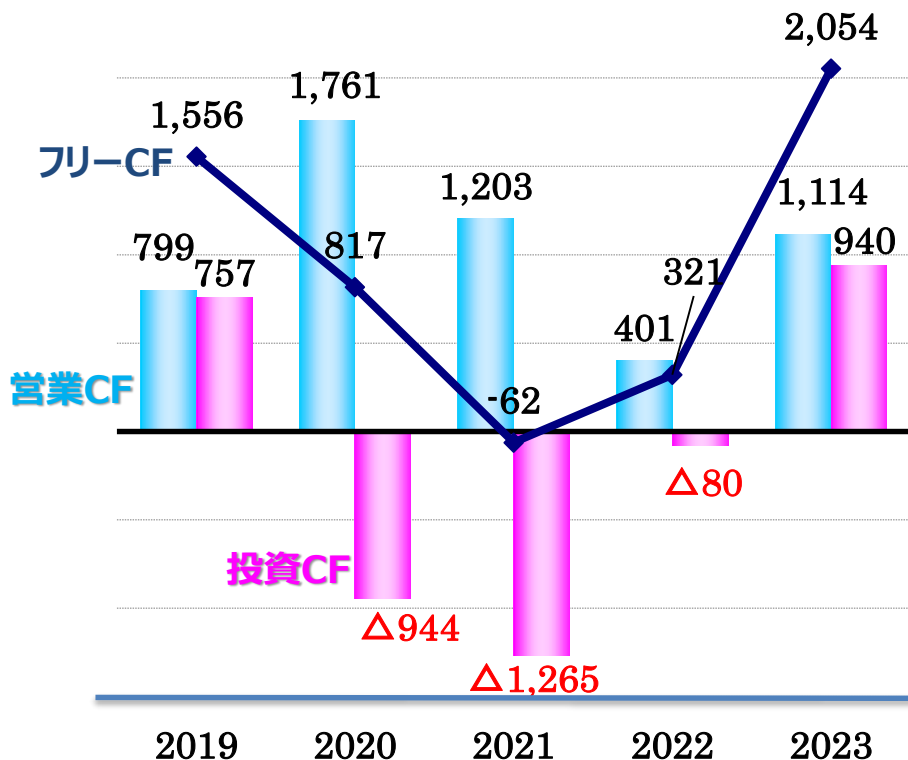


増減内容

(百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
買掛金等	2,435	2,269	7.3%
有利子負債	1,536	1,782	△13.8%
その他	2,424	2,449	△1.0%
純資産	12,680	12,312	3.0%
合計	19,075	18,813	1.4%

キャッシュ・フロー推移

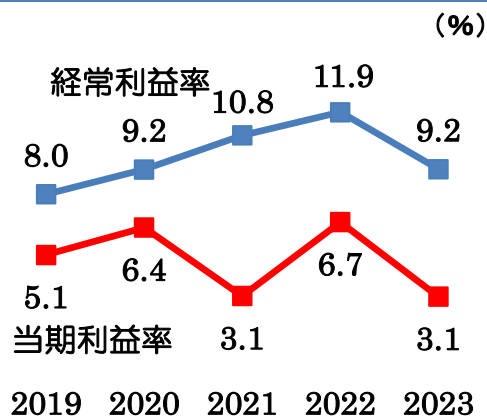


増減内容

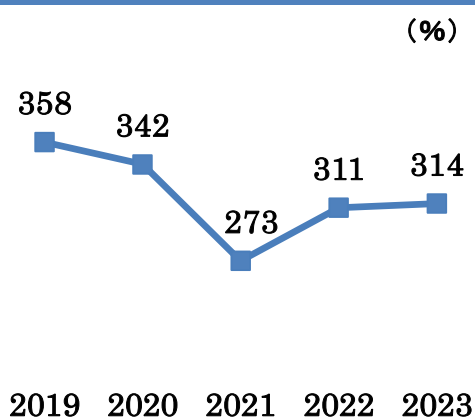
(百万円)

項目	当期	前期	増減率
営業CF	1,114	401	177.8%
投資CF	940	△80	—
財務CF	△646	△714	△9.5%
換算差額	23	41	△43.9%
合計	1,431	△352	—
期首残高	5,387	5,740	△6.1%
期末残高	6,819	5,387	26.6%
フリーCF	2,054	321	—

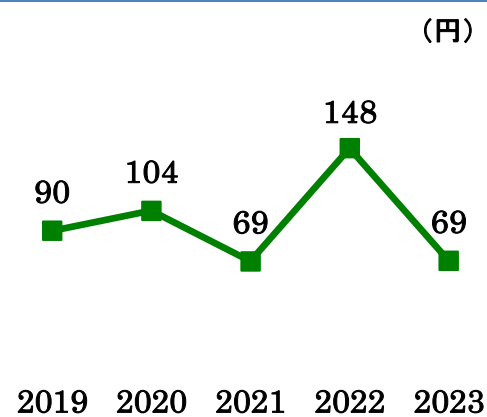
売上高利益率



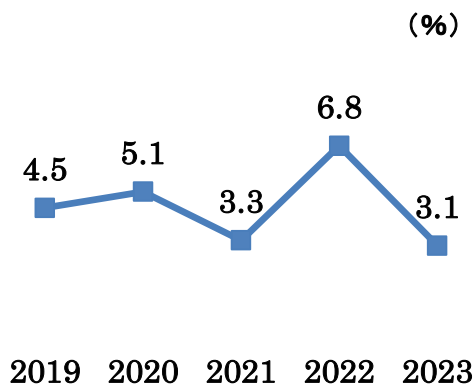
流動比率



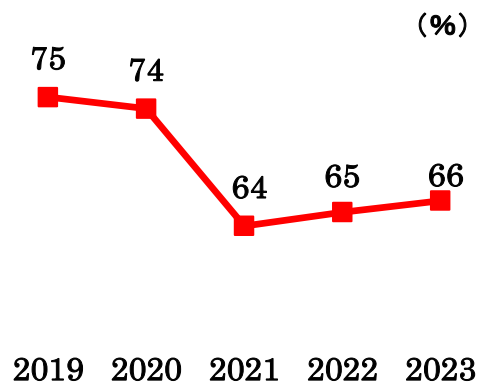
1株当り純利益



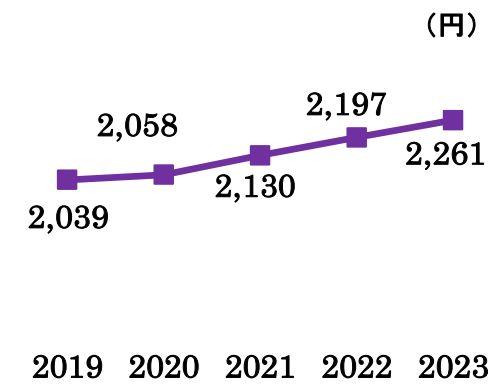
自己資本利益率



自己資本比率



1株当り純資産



■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。

■ お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社

執行役員 管理本部長 中島 昭

E-mail : akira.nakashima@fenwal.co.jp

住 所 : 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電 話 : 03-3237-3561